

3/25
2025
(火)
企業連携講座

脱炭素・GX社会における 補助金の活用 WEBセミナー LIVE 配信

定員
200名
(先着順)

受講料
無料

協賛：株式会社 イースリー / ダイナエアー 株式会社

2021年10月に閣議決定された第6次エネルギー基本計画からわずか3年で、エネルギー情勢は大きく変化しています。世界情勢の緊迫化などを背景に、エネルギー安全保障の重要性が増す中、国内ではDXやGXの進展により、電力需要の増加が見込まれています。一方で、脱炭素社会実現に向けた世界的な動きも加速しており、特に欧米各国はCNの達成を目指し、エネルギー構造の転換を産業政策と連携させ、国内産業の競争力強化を目指す動きが顕著です。このような状況を踏まえ、我が国では国内外の情勢変化を反映したエネルギー政策の検討が進められています。第7次エネルギー基本計画ではGX推進に向けた新たな計画が示されています。

本セミナーでは、GX推進に向けた具体的な取り組みとして、工場事業場やビル設備に関連する補助金活用方法や補助金に着目した空調技術の活用法をご紹介します。エネルギーの安定供給と脱炭素社会の実現に向けた実践的な知識を得る絶好の機会としていただければ幸いです。

【カリキュラム】14:00～16:30 14:00～開講挨拶(接続の開始は13時50分頃から予定しています。)
※講演タイトルは現在企画調整中のタイトルです。内容やタイトルが変更になる場合があります。

1 【トピックス：省エネルギーと補助金活用】 1-1 最新・最近の省エネルギー動向

講師：一般財団法人 省エネルギーセンター 顧客支援部 (20分)

1-2 令和7年度本予算 および 令和6年度補正予算に基づく 補助金の最新情報

講師：株式会社 イースリー (30分)

激変するエネルギー情勢を背景に、第7次エネルギー基本計画が策定され、新たな政策が打ち出されています。2015年のパリ協定採択以降、CNの実現に向けた動きが加速し、10年を迎えた今、今後の設備導入計画をどのように立てるべきか、特に省エネルギー投資において重要なテーマとなっています。

本講演では、現状のエネルギー情勢を整理し、令和7年度の設備投資関連の補助金の有効活用法を事例を交えて紹介。企業や自治体のエネルギー対策に役立つ具体的なアプローチを考えていきます。

2 調湿換気空調システムによる CN 推進と活用事例 (仮題)

講師：ダイナエアー 株式会社 / 2019年度 省エネ大賞受賞 (30分)

リキッドデシカントは高精度・高品質・高効率を求めるハイエンド需要に対応可能な最先端の空調方式です。本講演では調湿換気空調によるCN推進と健康・快適性の向上について解説します。また、リキッドデシカント技術を導入する際に活用できる補助金についてもご紹介。事例を交え、効果的な活用方法をお伝えします。

3 第7次 エネルギー基本計画にみる GX 推進計画と省エネルギー

講師：一般財団法人 省エネルギーセンター 顧客支援部 (30分)

第7次エネルギー基本計画では、経済政策と脱炭素化の両立を目指すことが明記されました。GX2040ビジョンを通じて進められる政策では、企業による更なる投資が求められています。本講演では、第7次エネルギー基本計画に見る今後の省エネルギー対策や設備導入について、政策の視点から考えていきます。

講演の合間に、休憩をとる予定です。セミナー講演終了後、16:15ごろからQ&Aの実施を予定しております。

お申込み確認後、事務局より Zoom の 招待メール を送信いたします。

要事前申込

お問い合わせ

省エネルギーセンター 顧客支援部 ◆メール seminarjyukousya@eccj.or.jp

※本セミナーに関する電話でのお問い合わせについてはご対応しておりません。

参加お申し込みはこちらの「WEB」フォームをご利用ください。

テキストの事前配布は行いません。ご希望の方は、セミナー終了後各講演企業にご連絡ください。申し込みフォームがご利用いただけない場合は上記アドレスにメールにてお申込みください。

※本セミナーを受講するには、パソコン等をインターネットに接続できる環境が必要です。

申し込み
しめきり日
3/23

